



東武動物公園 ニュースリリース

遊 28-2 号
平成 28 年 4 月 27 日

開園以来初の“植物エリア”

『ハートフルガーデン』誕生!!

2016 年 5 月 28 日（土）オープン

東武動物公園（東武レジャー企画㈱、埼玉県宮代町、社長：日置岳人）では、開園 35 周年記念事業の一環として、3 月にオープンした新クマ舎「ヒグマの森」に次ぎ、“植物エリア”『ハートフルガーデン』が 5 月 28 日（土）にオープンします。

「ハートフルガーデン」は、園内中央に位置する「トッピー広場」の改修により誕生する、当園初の本格的な植物エリアです。総面積 5,400 m²の敷地では、様々な花、野菜や果実など、約 375 種 33,000 本の多様な植物が四季を通じてご覧いただけます。さらにエリア内は 4 つのテーマガーデンに分かれており、中でも約 200 種のバラが咲き誇る「ローズガーデン」や年数回にわたりデザインが変わる「キャンパスガーデン」が見どころです。

また、“笑顔と花と会話が集う庭”をコンセプトに、隣接する遊園地エリア「ハートフルランド」との関連性を持たせ、オリジナルのキャラクターやストーリーを設定した独自の植物エリアを演出します。

当園では、桜やウメ、アジサイ、イチョウなど、四季を感じる樹木や花が点在しているほか、平成 23 年（開園 30 周年）より、コスモスや等身大の動物を模った花（造花）を展示するイベント「フラワーガーデン」を開催し、自然と植物に接する機会を提供してきました。

「ハートフルガーデン」の誕生により、「動物園」・「遊園地」・「プール」に「植物」という新たな魅力が追加され、親子 3 世代で楽しめるよりハイブリッドなレジャー施設を目指します。



【左：『ハートフルガーデン』全体イメージ / 右上：ローズガーデンイメージ / 右下：キャンパスガーデンイメージ】

【ハートフルガーデン コンセプト】

東武動物公園は、遊園地と動物園からなるハイブリッドレジャーランドです。さらに遊園地は、「リバティールランド」、「プレジャーランド」、「ハートフルランド(ハートフルファーム+ハートフルタウン)」の3つのエリアに分かれています。そのエリアのひとつであるハートフルランドは、“家族の『絆』が深まり、笑顔が溢れるようなエリア”をコンセプトに、オリジナルのキャラクターやストーリーを配した“絵本のような遊園地”として2014年に完成しました。ハートフルランドに隣接する今回の植物エリアは、植物を通じて家族の絆を深めたいという思いから、“笑顔と花と会話が集う庭”をコンセプトとし、“庭”(ハートフルガーデン)に住むキャラクターとストーリーを設け、ハートフルランドの一画として、独自の植物エリアを展開していきます。

■施設名:ハートフルガーデン ～ミセス・マルベリーのお庭～

■場 所:現トッピー広場(オープン後、ハートフルガーデンに改名)

■総面積:広場全体 11,750 m² / 改修面積 5,400 m²

■植物数:約 375 種 33,000 本

【ハートフルガーデン ストーリー】



《マルベリーおばあちゃん プロフィール》

年 齢:60 代後半

趣 味:園芸・絵描き・料理

「マルベリーおばあちゃん」は、ハートフルファームに住む「ポットおばあちゃん」の幼なじみ。代々受け継いだ、大きなバラ園のある家に住んでいる。

植物に関する知識が豊富で、手先が器用。決して豪華な暮らしをしているわけではないが、花やハーブ、野菜はもちろん、洋服やアクセサリーまで何でも手作りしてしまう才能がある。

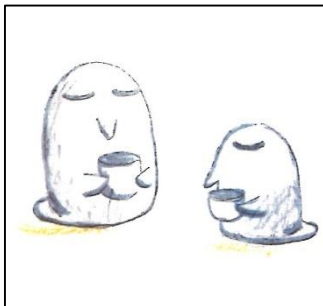
～庭に住む精霊たち～

庭には昔から住み着いている精霊たちがいる。

ときどき現れては、庭でお茶を飲んでいたり、じっとたたずんでいる。

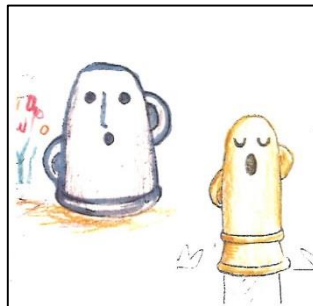
ガーデンの守り神的な存在で、見つけた人は良いことがあるかも!?

【チャノミー】



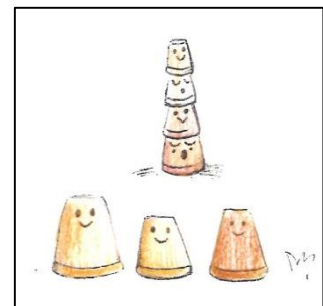
ガーデンの隅でいつもお茶している精霊。ハーブティーやローズティーはもちろん、時には日本茶も!?

【ハニー】



花の合間でじっとたたずむ精霊。あまりにもたたずんでいるので、時には苔が生えてしまうことも…。

【ポロン】



テコラッタの植木鉢のような精霊。おもに家族で行動していて草木の間をポロポロと歩いている姿を見られるかも!?

【ハートフルガーデンの特徴】

1. 様々なシチュエーションで観賞できる“4つのテーマガーデン”

植物をより楽しんでいただけるよう4つにテーマ分けされたガーデンをご用意します。植物に囲まれながら食事ができるレストスペースをはじめ、赤や白、黄色など色鮮やかなバラが堪能できるローズガーデンや丘一面に咲き誇る大パノラマの花景色を楽しめるキャンパスガーデンなどが見どころです。

2. 五感で感じる“体感型植物エリア”

四季を通して彩り豊かな花々を観賞できるのはもちろん、バラやハーブ、果実などの香りを楽しめるほか、植物の採取、野菜の収穫など直接植物に触れることができます。また、収穫した野菜などをその場で食べられる食育イベントも計画中です。

3. 動物園ならではの“植物エリア”

「ハートフルガーデン」で生産・収穫した野菜や果実は、動物たちのエサとして活用します。また、発酵させた動物の糞は堆肥としてリサイクルされます。オープン後には、収穫体験から動物のエサやり体験を一環としたイベントの開催や、ヤギやヒツジ、ガチョウやその他鳥類などの散歩コースとしても使用予定です。

【テーマガーデンの概要】

ウェルカムガーデン

敷地面積:1,350 m²

植物種類:約 30 種 2,700 本

敷地概要:整備された芝生エリアにて、お食事をしながら植物を観賞できます。

<代表植物>

■春～夏:ベニバナトチノキ(赤花)／ヤマボウシ(白花)／ガウラ(白桃花)／サルビア(赤花・青花)など。

■秋～冬:オタフクナンテン(紅葉)／クリスマスローズ(白・紅紫花)／ユリオプステージー(黄花)

※芝生養生のため、ガーデン解放は夏以降を予定しております。

ローズガーデン

敷地面積:1,300 m²

植物種類:約 300 種 7,000 本(内バラは約 200 種 200 本)

敷地概要:約 200 種の色鮮やかなバラが点在し、香りも楽しめる英国風花壇。つるバラアーチやシンボルオブジェのガゼボも登場。また、3年に1度、イギリスのロンドンに本拠地を置き、世界37カ国が加盟する世界バラ会連合が開く“世界ばら会議”において選出された名誉ある殿堂入りの品種、全16種類のバラも観賞いただけます。その他、宮代町の隣に位置する杉戸町にあるバラショップ「バラの家」でオリジナル生産している品種も登場します。

<世界バラ会議で殿堂入りした品種(全16品種)>



【ピース】



【ドゥフト・ポルケ】



【アイスバーグ】



【ピエール・ド・ロンサール】

(その他の殿堂入りしたバラ)

クイーン・エリザベス／ダブル・デライト／パパ・メイアン／パスカリ／ジャスト・ボーイ／ニュー・ドーン
イングリッド・バークマン／ポニカ'82／エリナ／グラハム・トーマス／サリー・ホームズ／カクテル

キッチンガーデン

敷地面積: 700 m²

植物種類: 15 種類

敷地概要: 馴染みある野菜はもちろん、普段目にしないような、ちょっぴり変わった野菜も登場。中でもハート型のトマトやメロン風味のするスーパーでは見つからないフルーツなど珍しい品種をご覧ください。
また、バジルやローズマリーといった香りも楽しめる、家庭菜園花壇となります。その他、実際にお客様に苗植えから収穫までを体験できるプログラムも計画中です。

<ちょっぴり変わった野菜>



【トマトベリーガーデン】



【トマト・サブリガールズ】

チョコちゃん



【一粒キュウリ・プチキュー】



【ペピーノ・ロイヤルカスタード】

* 写真提供: トキタ種苗 / パナプラス / エムソン企画

<その他の野菜・植物>

赤シソ / オクラ / カボチャ / ナス / スイスチャード / トウガラシ / トウモロコシ

バジル / ローズマリー / ジニア / ガザニア

キャンパスガーデン

敷地面積: 2,050 m²

植物種類: 約 40 種 19,000 本

敷地概要: 「ハートフルガーデン」の中でも一番大きな丘状の花壇。約 1,200 m²に敷き詰められるお花やデザインは季節ごとに変化し、1年を通して楽しめます。また、丘の頂上からはガーデン内を一望できます。

<代表植物>

■ 春～夏: ペチュニア品種「サクラフロート」・「シルバーベリー」・「ビスタピンク」・「ブルーモーンプラス」

■ 秋～冬: 選定中



【サクラフロート】



【シルバーベリー】



【ビスタピンク】



【ブルーモーンプラス】

〒345-0831 埼玉県南埼玉郡宮代町大字須賀 110

東武レジャー企画(株) 業務部 山口・中嶋・前田

TEL 0480-93-1200 Fax 0480-92-2694 HP アドレス <http://www.tobuzoo.com>